

リーダーシップセミナー 【オーナーシップ編】



部下のオーナーシップを高める

成果主義の導入によって、多くのリーダーがプレイング・マネージャーとして多忙な日々を過ごし、部下指導に時間を割けなくなっています。そこで、いかに部下をオーナーシップの意識、すなわち情熱を持って自ら考え行動し、成長する“高次元の当事者意識”を持って取り組めるように指導するかがポイントになってきました。リーダーの人を動かす力と育てる力を向上させます。

このようなご要望にお応えします

部下には、指示を待つのではなく、主体的に仕事に取り組んで欲しい

部下指導に割く時間がなかなか取れない

自分が部下だった頃のリーダー像は参考にならない。

部下にやる気を持たせたい

セミナーのねらい

プログラムを通して、リーダーシップ・マネージャー力を育成し、チーム全体としての組織力向上を図る。特に、部下に、会社・組織の目的を理解した上で主体的思考、主体的行動、先取り行動を取れるよう指導するためのノウハウを身につける。

受講対象者

職場委員、執行委員

プログラムの特長

- ・ “オーナーシップ育成” に比重を置いたプログラム
- ・ 研修自体が「リーダーシップのプロセス」に対応
- ・ 講義内容を実践する経営者が講師として指導

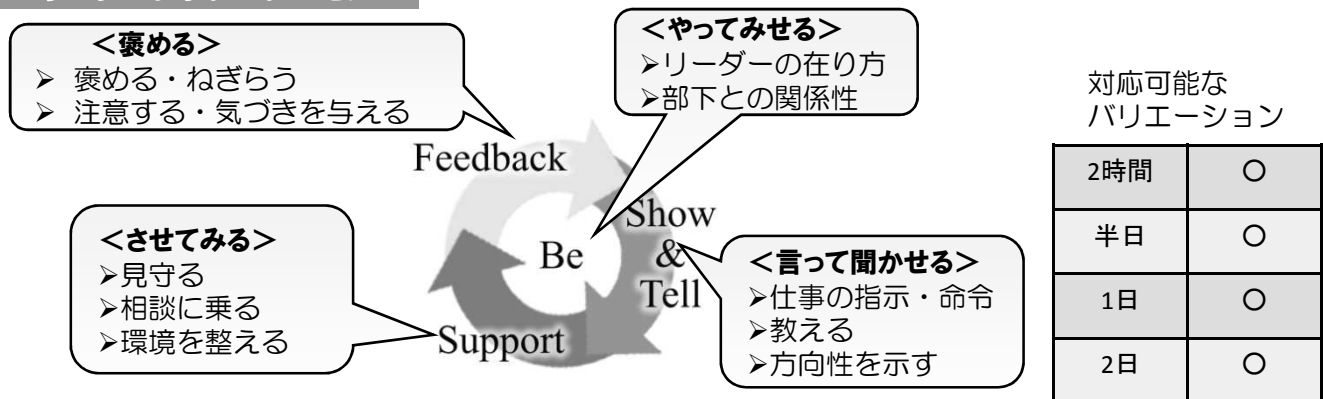
株式会社ライフワークス

www.lifeworks.co.jp

〒105-0003 東京都港区西新橋1-11-3 TEL:03-5157-1470 FAX:03-5157-1471

プログラム紹介

リーダーシップ・プロセス



「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、褒めてやらねば、人は動かじ」 (山本五十六)

プログラム 内容

タイトル	主な内容
1. リーダーの影響力とオーナーシップ	⇒過去のリーダーを分析する【演習】や自分なりのリーダー像を描くことで、オーナーシップを引き出すリーダー像について考える。
2. リーダーの魅力的なあり方と中心軸 (Be)	⇒自分自身のあり方が部下に与えている影響を知る。部下を理解することの重要性を学ぶ。
3. リーダーにとっての伝える力 (Show&Tell)	⇒演習を通して、リーダーとしてどのように「用件を伝える」「教える」「方向性を示す」ことを伝えたらよいかを考える。
4. リーダーは部下の成果と成長を支援する (Support)	⇒リーダーはどのように「見守る」「相談に乗る」「環境を整える」ことで部下の成長を助けられるかを学ぶ。
5. リーダーの褒め方・気づきの促し方 (Feedback)	⇒オーナーシップ醸成のための「褒め方・気づきの促し方」「叱る・注意する」方法を考える。
6. 3つの成長ステップ	⇒総括トレーニング

受講者の声



- ・これまで感覚的に捉えていたリーダーとして必要な考え方やスキルを体系立てて理解できた。
- ・メンバー分析を通して、より個別のコミュニケーションの充実を図る必要性を実感した。
- ・考え方から具体的なアクションプランへのつながりを持って実践できそうだ。

講師



西野 浩輝

マーキュリッチ株式会社
代表取締役

大阪大学大学院卒。(株)リクルートに入社し、営業、商品開発、マーケティング等の仕事を担当。営業や新規事業提案等で数々の賞を獲得。外資系教育会社を経て、マーキュリッチ設立。現在、コミュニケーションスキル全般の教育を行う。著書に『5日で身につく伝える技術』他多数。

主な研修・講演実績

マイクロソフト、KDDI、伊藤忠商事、NEC、三菱UFJモルガン・スタンレー証券、住友信託銀行、ジブラルタ生命、あいおい損害保険、日本たばこ産業、ジェイティ飲料、ヤクルト本社、日立総合経営研修所、竹中工務店、イオン、ほか(敬称略)